



農委だより 常総

平成26年1月1日発行
第16号

〒303-8501
茨城県常総市水海道諏訪町3222-3
電話 0297-23-9013・9018(直通)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



どろんこまつり
11月17日の日曜日に豊田地区の阿部神社において奇祭といわれる「どろんこまつり」がおこなわれました。当日は、山車の上でのとんだばやしや獅子舞に続き、お化粧をした親子が地区を練り歩きました。秋田委員紹介

年頭のごあいさつ



農業委員会 会長
倉持 創一

新年あけましておめでとうございませう。

希望に満ちた新春を健やかに迎えることとお喜び申し上げます。昨年、日本全体が異常気象となり、夏の高温やゲリラ豪雨、秋の台風、竜巻等、記録破りの悪天候で、農作物を育てている農家の方々には特に苦労された一年でした。そのような中、TPP交渉の重要農産物の関税撤廃、米の減反政策の見直し、いまだに続く原発事故による風評被害など、農業経営に直結する課題が山積みで、農家にとっては大変な時代になりました。ある昨今、我々農業委員会としても地域の農業の発展に全力で取り組んでまいりますので、ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

また、今年、農業委員改選の年でもあり、皆様方のご協力を重ねてお願ひ申し上げます。

最後になりますが、本年こそは幸ある一年でありますようお祈りつつ、新年のご挨拶といたします。

本年もよろしく
お願ひします

農業委員

(議席順)

- 喜見山 明
- 中 莖 一 秀
- 渡 辺 勝 一
- 菊 田 政 光
- 田 村 匡 史
- 相 山 とし 子
- 増 田 亮
- 松 崎 信 太 郎
- 岡 野 孝 一
- 内 海 浩 之
- 坂 入 浩 之
- 菊 地 義 男
- 門 井 泰 仍
- 倉 持 泰 仍
- 山 野 喜 仁
- 和 田 喜 勇
- 川 田 静 枝
- 石 塚 寛 一
- 秋 田 文 男
- 古 谷 ミチ 子
- 橋 本 武 夫
- 横 島 文 雄
- 鈴 木 将 之
- 倉 金 一 廣
- 倉 持 創 一

地域の担い手

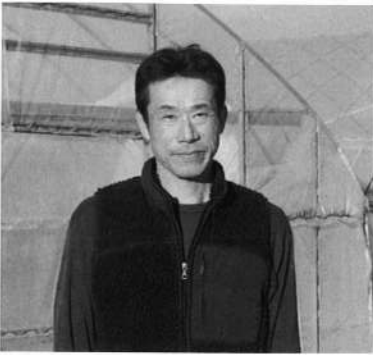
五箇地区 沼尻武男さん

我が家はトマト・キュウリを栽培する専業農家です。就農して15年になります。技術・知識が身に付くにつれ、難しく面白く感じるのが農業だと思います。

近年、夏の猛暑、冬の寒波などを始め、予期せぬ自然災害も増えてきた様に感じます。早めに準備、対策を講じ、更なる技術向上を図る必要があります。

作物を栽培する上で気を付けている点は、日々の観察です。朝昼夜で植物の姿は変化します。樹勢、栄養のバランス、病害虫の発生など早期発見に努めています。販売面では、トマトは直売を中心に市場出荷も行っています。味、品質、収量をバランスよく作る事は難しいですが、お客様の「美味しい」という言葉が励みになっています。

水海道地区は決して農業後継者が多いとは言えません。



紹介農業委員



川田 委員

武男さんは大学卒業後、二年間アメリカで過ごし見聞を広げられました。家に帰ってすぐ就農し園芸農家として日々一生懸命研究している努力家です。

だからこそできる事もあると思うので、今後は施設園芸農家にとらわれず、若手農家同士の交流も必要になってくると思います。

次世代に農業が魅力ある仕事のひとつである様、担い手の一人として頑張っていきたいと思えます。

消費者としておもしろい

石下地区 岡田玲子さん

私は夫の転勤に伴い、25年前に群馬県から石下町に転入しました。まずビックリしたのは、高いものは筑波山だけの、見渡す限り真っ平らな田んぼが広がる光景でした。なにせ山に囲まれた群馬県から来たので：

さらに驚いたのは、その田んぼでとれたお米の美味しさでした。今まで食べていたお米は何だったの？と思うくらいの衝撃でした。

勤め人の我が家は、食料は買って食べる完全な消費者です。すから、地元でとれる農産物の美味しさがよくわかります。また、県外の親類や友人に、スイカや新米などを送り大変喜ばれています。

東京からわずか60kmのところ、こんな豊かな土地があるなんて。素人考えですが、首都圏に向けて常総市の美味しい農産物を、もっとPRすべきだと思います。



紹介農業委員



倉金 委員

東京に生まれ、縁があつて石下での生活が長い岡田さん。ご主人の実家の群馬には梅の収穫に。とにかくパワフル。行動派の奥様です。

食は命にかかわる問題です。農業は主食である米をはじめ、日本人の食を担う重要な仕事です。農家の皆様には、これからも安全で美味しい農産物を生産していただくよう、一消費者として切にお願いいたします。黄金に実る稲穂がどこまでも続く景色は、見事の一言に尽きます。

常総市長

に要望書を提出

農委倉持会長・倉金代理市長応接室にて

昨年11月10日、高杉徹常総市長に、平成26年度常総市農業委員会の要望書を提出いたしました。

この要望書は10月31日の総会にて協議決定されたもので、農業行政の要として、これからの農業委員会活動が円滑に進みますよう予算関係、農業政策関係等、支援をしていただくものです。





表彰式

昨年11月10日、石下庁舎周辺において常総ふるさとまつりが開催されました。メインイベントである「かかしコンテスト」では、かかし48体が展示され、市民の目を楽しませていただきました。このかかしは、保育所の園児から社会人の団体まで幅広く出展された傑作ぞろいです。

当日は表彰式が行われ、倉金一廣会長職務代理が「農業委員会会長賞」の特別賞を受賞者（玉小学校1年1組）に授与されました。誠にありがとうございます。

**かかしコンテストで
農業委員会会長賞を授与**



会長賞作品

平成26年は3年に一度の農業委員改選の年です。毎年1月1日現在で農業委員選挙人名簿を作成することになっております。資格のある方は漏れなく提出してください。

なお、申請書につきましては、農家個人宛に郵送し、各地区の自治会長さんを通じて回収いたしますので、よろしくお願いします。

また、申請のない方は農業委員選挙に参加できませんので忘れずに提出してください。

**農業委員選挙人名簿
の提出について**



わらで作った亀

元農業委員の堀越とし子さんが、地元の奥様方と、わらで亀の制作にチャレンジしました。3年前から作り方を習い、今年は23体完成したとのことでした。

昨年の「農委だより常総14号」の表紙の時は、正月用のしめ縄作りに挑戦した記事でしたが、今回の亀は、しっぽに稲穂を使い、色使いにも配慮した亀は、とても手作りとは思えぬ出来栄でした。

これからも正月用に干支の動物などを作成していきたいと話しておりました。

**わらで作った亀でお正月を
地元婦人会のみなさんと**

平成24年 主要業務実績

農地移動の実態 (1月~12月)

条 項 別	件数	面積(m ²)
3 条	所有権移転	99 309,175
	賃貸借	2 4,252
	使用貸借	14 149,217
	届出	115 775,253
4 条	許可	21 14,069
	届出	13 4,423
5 条	許可	104 161,644
	届出	17 9,117
4・5条制限除外	20	25,597
大臣許可	0	0
18条解約	95	192,181
証 明	非農地証明	3 1,492
	転用事実証明	0 0
	現況証明	10 9,529
農業経営基盤強化	394	1,343,416

平成24年 農用地利用集積事業

(1月~12月)

地 区 別	面積(m ²)	地 区 別	面積(m ²)
水 海 道	14,885	内 守 谷	8,868
豊 岡	26,419	菅 生	71,820
菅 原	66,103	大 塚 戸	10,328
大 花 羽	391,641	石 下	24,615
三 妻	96,609	豊 田	80,951
五 箇	150,816	玉	46,487
大 生	142,700	岡 田	19,541
坂 手	17,049	飯 沼	83,157
計		1,282,685	
田畑別面積			
田	9 3 5, 4 7 7 m ²		
畑	3 4 7, 2 0 8 m ²		
計	1, 2 8 2, 6 8 5 m ²		



農地パトロール を 実施 を 実 施 を 重 点 に 耕 作 放 棄 地 を 重 点 に

昨年(2019年)の11月20日、農業委員さんによる農地パトロールを実施しました。今回は耕作放棄地となりやすい不在地主が所有している農地を特に重点的に行い、周囲の農地に悪い影響となる、ごみの不法投棄が起きやすい環境にならないかなどをチェックしました。

また、耕作できる農業者をあつせんするなど、耕作放棄地解消に向け、少しでも対処できるよう努力してまいります。

農業者年金に 加入しましょう

農業経営と老後の生活が
がっちりサポートします。

農業者年金は、少子高齢化に即応した農業者の公的年金で、積立方式の安定した制度です。

保険料は自由に決められ、税制面でも大きな優遇措置がある有利な年金制度です。

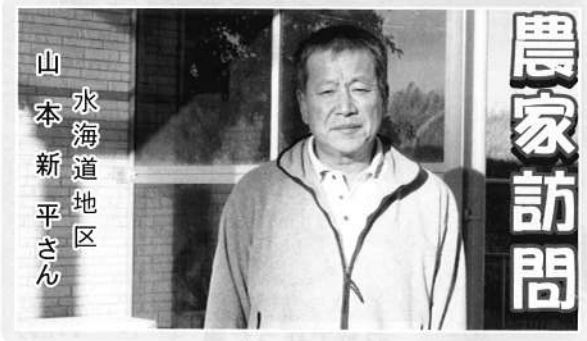
次の3つの要件を満たす方ならどなたでも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も安心してご加入いただけます。

農業者年金に興味のある方は、最寄りの農業委員または、農業委員会事務局までお問い合わせください。

加入条件

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者

農家訪問



北海道地区
山本 新平さん

今回は山田町の山本新平さん宅を訪問いたしました。

山本さんは奥さんと一緒に酪農と水稻の複合経営を行っています。基本理念は安心安全な米と新鮮な牛乳を出荷する事、酪農主体の経営なので、毎日朝5時から夕方5時からの搾乳作業を行う為、心身ともに大変良いと笑顔で答えてくれました。

また、良い牛の繁殖は非常に大変ですが、自分で選んだ種牛で後継牛を残し、育てていくのは楽しみで、できるだけ自家育成牛で経営を

紹介 農業委員



山野井 委員

北海道地区で数少ない専業農家の山本さんです。農業だけでなく、町内会や組合の事にも常に一生懸命取り組み活躍され兄貴みたいな方です。

行いたいと、繁殖にも積極的に取り組んでいました。なにごとも一生懸命な姿を見てみると、山本さん作出のスーパーカウで農場がいっぱいになる日も間もなくですね。

乳牛は暑さに弱く、ここ数年続く夏の猛暑、酷暑をどう乗り切れるかが不安だそうです。現在、扇風機、ミスト、スプリンクラー等で対処はしているものの、ほかに何か工夫が出来ればと模索中とか？

年々飼料用の畑の作付面積も増えてきているので、作物の処理機械の導入が必要になってきたそうです。

ヘルパー制度を利用して旅行に出るのも楽しみの一つ、体と心にゆとりのある農業経営を目指したいと剣道5段の大きな体に満面の笑みを浮かべて話してくれました。

編集後記

表紙の「どろんこまつり」を取材しました。氏子さんが紅などを使い、化粧している姿が面白く、昔は道路が未舗装のため、泥だらけになったことから、「どろんこまつり」となったそうで、奇祭といわれる由縁だと、地元の方から聞きました。

また、獅子舞の獅子の口が蓑を二つ重ねて作ってあるところなど、手造りの祭り、地元で約百年以上も続いている古式豊かなお祭りでした。

営農と暮らしに役立つ

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日
購読料 月額六百元
申込みはお早めに